

2013.7.20 研修医勉強会徳之島徳洲会病院 2年次研修医 本原 慶彦

演題：骨粗鬆症に対する治療介入率の検討

抄録

離島・僻地においては、高齢化が進む日本国内において特に高齢者の割合が高く、脳血管疾患と並んで骨粗鬆症とそれにより引き起こされる脆弱骨折が、ADL低下の重要な原因となっている。今回、骨粗鬆症と診断されたなかで、どの程度が治療介入されているかを調査することで、今後の骨粗鬆症に対していかに治療的アプローチすべきかを検討する。